

ディスコグラフィー収録

ディスコグラフィー【2018No.101】(HP 収録)

分類：CD

作曲家：ベートーベン

曲名：ミサ・ソレムニス ニ長調

演奏：ダニエル・ロイス指揮 18 世紀オーケストラ カペラ・アムステルダム

発売：M-Plus

No. : CCD 921124

概要：



ソリストは次の陣容です。

キャロリン・サンプソン マリアンネ・ベアーテ・キーラント

トーマス・ウォーカー ウイルソン・ジョーンズ

発売元の解説を下記に引用します。

「ポスト=ブリュッヘン時代」へと突入したピリオド・オーケストラのパイオニア、18 世紀オーケストラの音楽創造の旅路。ピリオド系の名オーボイスト、フランク・デ・ブライネとの「モーツァルト:オーボエ協奏曲」(GCD 921123)に続く、「ポスト=ブリュッヘン時代」第 2 弾となる新録音は、オランダ古楽界の名匠ダニエル・ロイスがタクトを執ったベートーヴェンの「ミサ・ソレムニス」！

古楽、合唱シーンでその卓越した手腕を発揮するダニエル・ロイスと自身が芸術監督を務める世界有数の合唱団カペラ・アムステルダム、そしてソリストにはキャロリン・サンプソン、マリアンネ・ベアーテ・キーラント(シェラン)など古楽界を代表する名歌手たちを迎えるなど、「ミサ・ソレムニス」の演奏のために豪華な陣容を実現させた 18 世紀オーケストラ。「ブリュッヘン時代」から続く 18 世紀オーケストラのベートーヴェン演奏史の一部であると同時に、「ポスト=ブリュッヘン時代」の本格的な幕開けを告げる「ミサ・ソレムニス」が堂々の登場です！

(東京エムプラス)

【曲目】

ベートーヴェン：ミサ・ソレムニス ニ長調 Op.123

【演奏】

キャロリン・サンプソン(ソプラノ)

マリアンネ・ベアーテ・キーラント(アルト)

トーマス・ウォーカー(テノール)

デイヴィッド・ウィルソン=ジョーンズ(バス)

ダニエル・ロイス(指揮)18世紀オーケストラ カペラ・アムステルダム

【録音】

2016年10月、ティヴォリ/ヴレーデンプルヒュ(ユトレヒト、オランダ)

演奏の詳細は [My Sonic Signature Gold の活用\(8\)](#) の他メディアとの聴き比べで報告しています。

以上